

KiKiの広場

2021年 10月 1日
cafe NO.132
KiKi



結局不安は的中し、休館要請は2週間延びて、開館は9月27日(月)からとなりました。「絵本カフェ KiKi」も28日(火)から営業を再開しました。ご利用予定だったお客様には、本当にご迷惑・ご不便をおかけしました。カフェ常連のMさんは、「ここに来られんげえ、ほんとどうしようかと思っちゃったいねえ。」と言われていました。(^^)

不安は尽きませんが、みなさま方のご理解とご協力のもと、明るく前を向いて、上手にコロナと付き合っていきたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

10月の予定	
休館日	12日(火)
定休日	毎土・日・月曜日

🍰 「今月のケーキ」…「パイナップルのタルト」 350円 🍰 「気まぐれシェフのKiKi オリジナルシフォンケーキ」
「キャラメル&ナッツシフォンケーキ」……300円



パイナップルをふんだんにトッピングした食べ応えのあるボリューム感と、カスタードクリームやさしい味わいのタルトです。温めても美味しい!



大好評のシフォンケーキです。ふんわり甘いキャラメルと、香ばしいナッツの食感がたまりません! めちゃくちゃ美味しいですよ!!



今月のお気に入り…「心穏やかに秋を楽しみたい絵本」

～「ねぎぼうずのあさたろう その7 さんぞく まつぼっくりのもんえもんのなみだ」「秋」「どんぐりぼうやのぼうけん」～



飯野和好作の「ねぎぼうずのあさたろう」の原点は、子どもの頃夢中になっていた「チャンバラごっこ」、そして江戸時代の日本だそうです。物事の善し悪しがはっきりしていて、日本の文化を知れば知るほど、日本人のDNAが刺激されて沸き立つものがあつたそうです。「水戸黄門」「大岡越前」「遠山の金さん」のような、スカッとする展開と、悪人たちの改心した姿に笑えます。「秋」は、かこさとしさんの戦争への想いが、静かに伝わってくる絵本です。コロナ禍でかこさんの長女鈴木万里さんが、古い作品を整理している時に見つけたのがきっかけだそうです。この夏に発行されたこの絵本、戦争を知らない世代にもぜひ読んでほしい絵本です。



今月の本棚…「14ひきのねずみシリーズ」

～「14ひきのかぼちゃ」「14ひきのあさごはん」「14ひきのこもいうた」「14ひきのやまいも」「14ひきのひっこし」など～



子どもたちが大好きないわむらかずおさんの「14ひきシリーズ」です。「雑木林のなかの家族の情景」、それがいわむらさんにとっての「原風景」だそうです。いわむらさんの言葉です。「『家族』と『自然』、それは、国や時代を超えて、わたしたちに生きるよろこびを与えてくれる、心の拠り所です。2011年、大震災と原発事故を体験し、わたしは、そのことをさらに強く感じています。描きつづけてきた、『自然の恵みに感謝し、家族とともにつつましく暮らすこと』は、いま取り戻すべき大切なことのひとつだと思ふのです。」

ほっとブレイク

ヒストリアのアイドル!! その7... 10月生まれのKちゃん、なんと3歳になります。お話もとっても上手になりました。反面、「イヤイヤ期」も発達する時期です。職場で一緒にいるので、思う通りにならないことも多々あって、お母さんのKさんを手こずらせることも日常茶飯事です。そんな中、ベビーサークルの側で打ち合わせをしている時、話しかけたいKちゃんに私が、「お仕事だから、シーっね。」と言うと、Kちゃんも人差し指を立てて、小さい声で「シーっ」と言いながら、おとなしくなりました。そんなKちゃんの成長にびっくりしました。

職場に我が子を連れて来て一緒に過ごすということは、なかなか他では考えられないことではないでしょうか。館長の考え方、その考えに添いたい仲間の想い、そしてKさんの頑張りがあるのが今あるのではないかと思います。私たちにとっても、Kちゃんの成長を見ながら仕事ができる日々は限られています。Kさんにとってはまだまだ大変なこともたくさんあると思いますが、今しかないこの時間を大切にしながら、一緒に頑張りたいたいと思います。